

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度
		iPadを活用したことばの指導
授業について	教科名等	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	ことばの指導
	授業の目標	①様々なことばに触れて語彙数を増やす。 ②ことばと概念を結びつける。
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (3)年 (1)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input checked="" type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input checked="" type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input checked="" type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・文字の読み書きが苦手であり、ひらがなのことばでも拾い読みになる。 ・一つの学習に対して集中が続かない。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) ○ことばの読みとそのイメージ(図やイラスト)を同時に表示することができる。 ○絵カードよりも作成にかかる時間が大幅に短縮できる。 ○複数の学習方法が入っており、子どもの実態に合わせて学習を展開できる。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	iPad Bitsboard flashcards & games (ios App) https://apps.apple.com/jp/app/bitsboard-flashcards-games/id516842210 
授業展開	授業展開・支援の手立て	イラストとその名称をマッチングする学習と、イラストを見てひらがな文字を正しい語順に並べる学習を行った。 マッチングの学習では、イラストを見せて正しいことばを3択の中から選ばせた。また、イラストとことばを神経衰弱のように対応させながら考えさせるようにした。正しい語順に並べる学習では、イラストの名称を順不同に並べて提示し、適切な語順になるように並び替えをさせた。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	iPadを使ってゲームのような感覚で学習できるため、絵カードを使って指導するときよりも、集中して学習に取り組んでいた。 楽しみながら繰り返し学習できたことで、読めることばが増えた。 画面に表示されることばの数やイラストの数を調整できるため、子どもの実態に合わせて指導ができた。 学習後に、どの問題が間違えていたのかを表示できるため、どのようなことばを理解しているのかを評価するのに役立った。